

公立大学法人福岡県立大学

I 全体評価

平成18年度に法人化した公立大学法人福岡県立大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

福岡県立大学は、平成24年度から第2期中期目標期間（平成24年4月1日から平成30年3月31日まで）に入り、3事業年度目を迎えたところであるが、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、人間社会学部と看護学部の連携のもと、関連する分野に関する幅広い視野を持ち、保健・医療・福祉の現場で中核となって活躍できる資質を持った優秀な職業人を育成することを最も重要な使命としている。

平成26年度の評価にあたっては、前年度評価において指摘した事項の改善状況を確認するとともに、これまでの業務実績も踏まえ、第2期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目中全て（教育、研究、社会貢献、業務運営、財務、評価及び情報公開）について「順調に進んでいる」と評定した。

また、中期目標に掲げている重点事項については、不登校・ひきこもりサポートセンターでの相談・支援事業、資格・免許保持者へのリカレント教育や研修等、社会貢献活動を積極的に実施するなど着実に取り組んでいる。

以上のことを踏まえ、公立大学法人福岡県立大学の平成26年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

福岡県立大学は、これまでに地域と連携した取組で着実な成果をあげてきている。

今後とも地域との連携のもと社会貢献活動等に積極的に取り組むとともに、大学の理念の実現を目指して、教育研究をはじめとした業務の充実・改善に向けた取組を更に推進されることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

教育については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

(1) 教養教育の充実

- ・グローバル化に対応するために、教養演習英語クラスの実施など語学教育の充実に取り組んでいる。

(2) 専門教育の充実

- ・東洋医療と西洋医療を融合した教育プログラムである「東洋看護学演習」を開講した。
- ・「ケアリングアイランド九州沖縄大学コンソーシアム」から発展した「文部科学省大学間連携共同教育推進事業」において、連携8大学の単位互換制度を早期に実施したことを評価する。

(3) 教育効果を検証するシステムの構築

- ・保健師、助産師、精神保健福祉士等の各種国家試験合格率が、高水準を維持している。

(4) 教員の教育能力の向上

- ・教員間の授業参観や公開授業を実施するなど、FD (※) の推進に努めている。

※FD (ファカルティ・ディベロップメント)

教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称

- ・看護学部において、臨床との共同研究の実施や臨床教授制の整備等により、臨床と教育研究の連携を図った。

(5) 優秀な学生の確保

- ・高大連携事業として新たに高校教諭との情報交換会を実施するとともに、オープンキャンパスの開催や入試説明会への参加等、入試広報活動に取り組んでいる。

(6) 学生支援の充実

- ・系統的キャリア形成支援講座やマイキャリアポケット (社会貢献活動記録帳) などきめ細かなキャリア形成支援に努めている。

(7) 学習環境の充実

- ・eラーニングシステムの改善、開設コース数の増加などIT教育システムの充実に努めた。

(8) 人間社会学部の改革

- ・「全学横断型教育プログラム」を編成し、学内外に周知した。

(9) 両学部連携の大学院博士課程の新設

- ・改革推進委員会等で議論を重ねた。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・科学研究費補助金の応募率及び獲得件数が目標を上回るなど、外部研究資金獲得を積極的に進めている。

3 社会貢献

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

社会貢献については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・交流協定校への短期研修プログラムを早期に実施した。
- ・不登校・ひきこもりサポートセンターにおいて、登校開始率が過去最高を達成するなど、不登校・ひきこもり対策を積極的に行っていることを評価する。
- ・看護師、保健師のリカレント教育事業数が目標及び前年度実績を上回った。

4 業務運営

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

業務運営については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・事務局機能の強化に向けて、プロパー職員を採用するとともに、外部研修会への職員派遣を行った。

5 財務

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

財務については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげていることを評価する。

6 評価及び情報公開

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

評価及び情報公開については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開するとともに、「全学横断型教育プログラム」をバナー掲載するなど、特色ある取組についてホームページで広報している。